



塗り替えプチ辞典

遮熱塗装 編

省エネにも有効 屋根に遮熱塗装 その秘密は遮熱顔料にあり

「夏を楽しむ」は、今では遠い過去の事?

都会に比べれば岐阜はまだマシなのでしょうが、それでも道路は舗装が進み、田畑は少なくなり、建物が多く建ち、それらは日中の強い太陽光線をどんどん吸収蓄熱します。その結果、太陽が西の空に沈んでも気温はなかなか下らず、偶々風が吹いても涼しいと言ったものではなく、生暖かくまるで暖房をしているような感じさえします。

の夏のイメージは「暑く嫌な物」ではなく、日中かなり暑くても、陽が沈めば田圃を渡ってくる風は涼しく、特に夕立の後などは一気に気温が下り「夏を楽しむ」といったような、結構心地良い記憶です。

そのように昔を懐かしんでも、時の流れに逆らって戻ることなどできる訳もなく、しかも現在手にしている便利さは手放せないのが現状です。

古い話で恐縮ですが、私の小学生の頃

遮熱塗料で「夏涼しく」、しかも暑いときだけに機能発揮

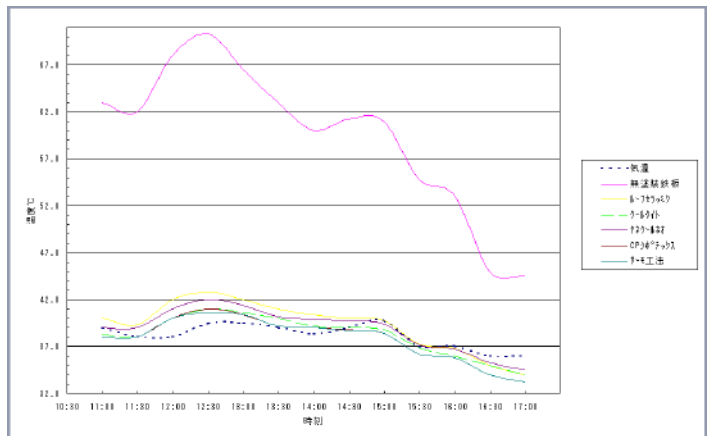
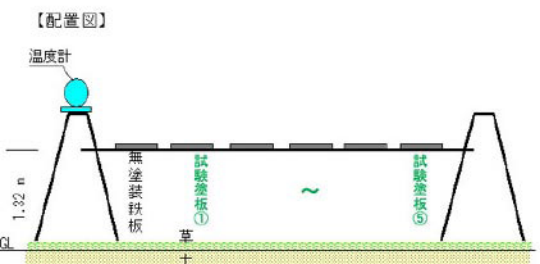
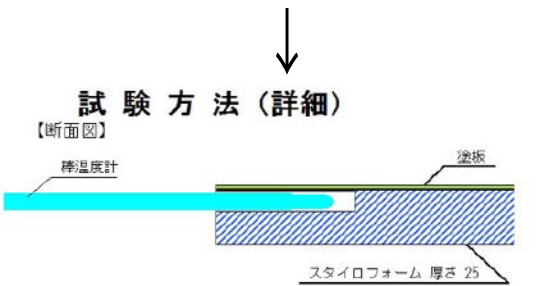
暑い日、少しでも建物が蓄熱しないようにするための方法として、10年ほど前に登場したのが遮熱塗料。

その遮熱性能を確認するために、弊社では独自（メーカーデータはチャンピオンデータが多いため）に室内サーモグラフィによる試験と、最高気温**37℃**の日に

屋外での性能試験を実施しました。

結果は、遮熱塗料をただ塗るだけで約**20℃**も温度に開きがありました。しかも冬のように気温が下ると、さほど温度差が生じないことも、冬場1月に行った試験から確認することができました。

屋外遮熱性能試験



屋内遮熱性能試験

県産業技術センターにて実施

